

検診精査：アルコール性肝障害について

[_____]さま

【あなたの状態】

AST:[_____]	ALT:[_____]
γGTP : [_____]	ALP : [_____]
Plt : [_____]	

- このたびあなたは定期検査にて肝機能異常を指摘されました。
- 現状では肝機能異常の原因としては、アルコールの飲みすぎによる肝炎がもっとも疑わしいと考えています。
- ただし原因はしばしば複合的です。アルコールに加え、過食による脂肪肝が重なっていることもしばしばあります。
- B型肝炎・C型肝炎などのウイルス性肝炎が併存している場合もあります。今回の診察では{1:ウイルスを調べました。ウイルスはいません。2:ウイルス性肝炎の合併があります。治療もウイルス性肝炎も念頭に置いて検討します。3:今回は評価していません}

【採血データ】

- アルコール性肝炎では γ-GTP という項目が上がるのが特徴的です（γGTPが上昇すればすべて酒が原因というわけではありませんが）
- 肝炎の程度がひどくなればγGTPだけでなくAST/ALTという値も上昇します。アルコール性脂肪肝炎ではAST値>ALT値となります。

【治療】

- 内服・注射に有効なものはなく、治療は酒をやめる・減らすだけです。
- AST/ALT が正常値よりも上昇している場合、肝臓にコンスタントにダメージが及んでいます。γGTPの値はともかく、AST・ALT値が高値であれば、肝臓は徐々に消耗し、肝硬変へと進行してゆきます。AST値が正常を超えている場合は危険度が上がります。
- 肝炎になるまで飲酒される方は（程度にもよりますが）アルコール依存の傾向があり、なかなかやめられません。このような場合、節酒（量を減らす）よりも、禁酒の方がまだしも成功率が高いという事実があります。
- あなたの現状は[_____]です。

上記内容を説明しました。

平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日 _____ 科